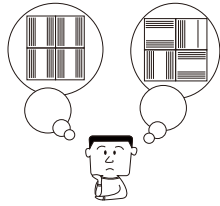




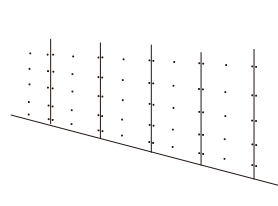
# ルーターボード／ダメージボード／ アートデザインボード／ピールドボードセレクション／ ファブリックボード施工案内

**壁材** Router Board / Damage Board / Art Design Board / Peeled Board Selection / Fabric Board

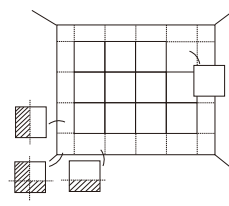
ルーターボード／ダメージボード／ファブリックボード施工方法 ■商品ページ→P043・P049・P071



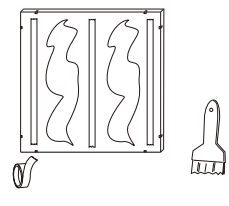
1.デザインにより必要枚数を決定します。端部の調整用も考慮して数量を拾い出しましょう。



2.あらかじめ、施工する面に合わせて仮並べを行い墨だしを行います。



3.なるべく中央から貼り始め、両隅で必要に応じパネルをカットして調整します。



4.接着剤・両面テープ等を併用し施工します。  
※ピンタッカーでの固定を推奨します。  
必要に応じ、巾木等見切り材をご使用ください。  
(現場調達品)

## 施工前のご注意

- 1.施工前の保管に際しては平らな場所に平積みしてください。立てかけや、凸凹な面での平積みは反りの原因になります。
- 2.火気の近くや、水・油等がかかるような場所には施工しないでください。火災や変色・変質の原因になります。
- 3.現場で塗装される場合は、あらかじめ不要な端材等に試し塗りを行って塗装の状態を確認してから行ってください。
- 4.着色塗装品の追加発注の場合は必ず先分に端材を色手板としてお送りください。なるべく近似となるように塗装いたします。手板なき追加注文の場合色違いになる恐れがあります。
- 5.商品の取り扱いには充分注意してください。パネルを破損して使用不能になることがあります。

## 使用上の注意と日頃のメンテナンス

- 1.塗装品は乾いた布でカラ拭きしてください。無塗装品で現場塗装した場合はご使用になられた塗料メーカーのお手入れ方法も考慮してください。汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を水で薄め、雑巾などを浸し硬く絞ってからふき取ってください。
- 2.無塗装品のままご使用になりますと、湿気、水滴等によりシミ・汚れ・カビが生じます。必ず塗装などの表面処理を行ってください。

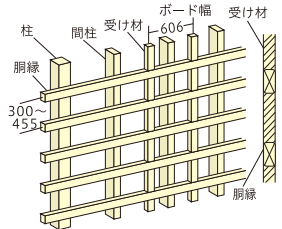
アートデザインボード／ピールドボードセレクション施工方法

■商品ページ→P051・P057

## 合板タイプ

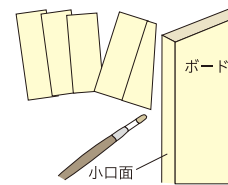
### 1.下地の加工

- ※下地に含水率の高い材料を使用すると、突板表面がシミになる場合があります。充分乾燥した材料をご使用ください。
- ※石膏ボードか合板を使用する場合、胴縁は必要ありません。



下地材は、図のように組んでください。その時、受け材をボード幅606mmに合わせてください。または、下地材を石膏ボードか合板で仕上げますと、表面を平滑に仕上げられ簡単に施工できます。

### 2.割付・施工



壁間や天井の長さを測り、ボードを仮並べて色・柄のバランス、収まりを確認してください。ボード幅は606mmです。まわりの色・柄と合いにくい場所は目立たない場所にご使用ください。ボードを切断して使用する場合は、小口面をボードと同じ色合いで塗装してください。



色・柄のバランスと納まりを確認しましたら、施工します。美しく仕上げるため、接着剤のみの施工をお薦めします。

(現地調達品)

接着剤:ゴム系または酢ビ系



釘:接着剤のみの場合=仮釘

接着剤と釘を併用する場合=釘頭が目立ちにくい、かくし釘やカラーネイルをご使用ください。

推奨品

両面テープと接着剤を併用する場合  
●ボンドKU920 ●ボンドTMテープW1-20  
または同等品をご使用ください。

両面テープやフィニッシュネールの他、仮止め釘もご使用頂けます。

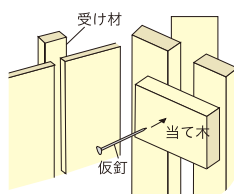
フィニッシュネールと接着剤を併用する場合  
●ボンドPX2000 ●各種フィニッシュネール  
または同等品をご使用ください。

フィニッシュネールと酢ビ系接着剤を併用する場合  
●ボンド木工用速乾またはボンドCH18  
●各種フィニッシュネール  
または同等品をご使用ください。

### 3-1《ボードを目すかしで施工する場合》

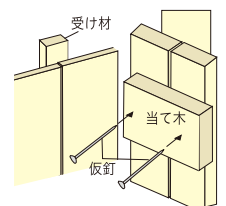
ボードを目すかしで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認してください。貼る際に、ボードの隙間が一定になるように、順序よく施工してください。接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。隙間部分から接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。

目すかしの下地部分に市販のテープ(現地調達品)または色付けなどを施しますと美しく仕上がります。



### 3-2《ボードを突き付け施工する場合》

ボードを突き付けで施工します。受け材がボード継ぎ目部分にあることを確認してください。順序よく施工してください。接着剤のみで使用される場合は、接着剤が固まるまで仮止め用釘で固定してください。接着剤がはみ出た場合は、その部分が変色することがありますので、すばやく拭き取ってください。天井材としての施工も同様にしてください。ボードの継目部分は、受け材があることをご確認ください。

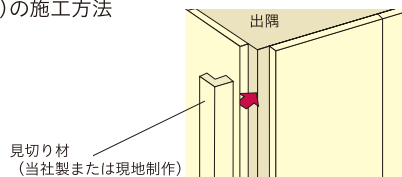




# ルーターボード／ダメージボード／ アートデザインボード／ピールドボードセレクション／ ファブリックボード施工案内

壁材 Router Board / Damage Board / Art Design Board / Peeled Board Selection / Fabric Board

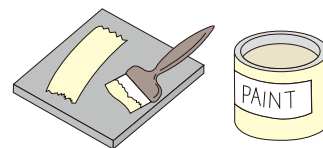
## 4. 出隅(コーナー部)の施工方法



出隅用の見切り材を現地で作り、ボードに合わせた着色塗装を行い施工しますと美しく仕上がりますので、お勧めいたします。

## 5. 無塗装品を現地で着色塗装する場合

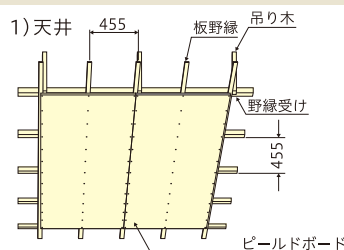
※台所など火気の使用頻度の高い場所には、ご使用を避けてください。コンクリート下地への施工は避けてください。



ピールドボードの切れはしに試し塗りをし、色調を確認した上で、作業を行ってください。

## 不燃タイプ

### 1. 下地の加工



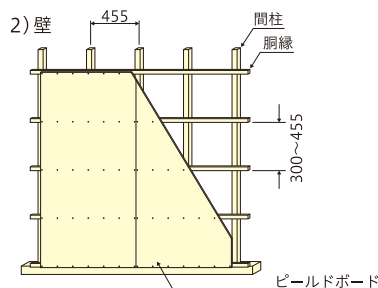
1-1天井：野縁受けは455mm間隔に組み、これと直交させて板野縁を455mm間隔に組んでください。

1-2壁：間柱は455mm間隔とし、これと直交させて胴縁を300～455mm間隔に組んでください。

### 2. 割付・施工

切断はボードカッター、丸鋸を用いて行います。

### 3. 取付



#### 3-1: 釘打ち又はビス工法

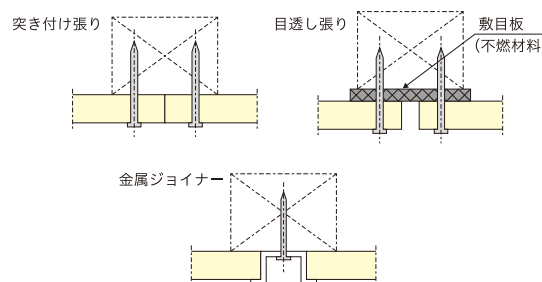
亜鉛メッキ太平頭釘、カラー釘又はタッピングねじで取付けてください。釘又はねじ打ちピッチは150mm以下としてください。

#### 3-2: 接着工法(壁のみ)

酢酸ビニル系樹脂又は無機系接着剤を、下地に150mm間隔に点状塗布し、接着硬化剤まで仮押さえにより圧着してください。接着剤の塗布量は150g/m<sup>2</sup>とします。

目地は突き付けを原則とします。目透しの場合は不燃材料の敷目板を敷くか、又は金属ジョイナーを使用してください。

### 4. 目地処理



## 重要

天然木突板仕様の商品はロットごと、サイズごと木目柄や木肌の違いにより色違いがあります。そのためなるべく塗装色があうよう、塗装品は出荷数ごとのロット塗装を行っております。一壁面または隣り合う壁面で連続してご使用になる場合は、同じサイズ、同じご発注ロットのものを使用してください。また、追加発注される場合は色違いを防ぐため、ご面倒でもご使用になった製品の端材等、色・柄が判断できるものを手板としてお送りください。なるべく近似となるよう塗装いたします。手板なき追加発注の場合、塗装や木目柄の状態で色違いになります。

## 製品についてのご注意

※表面の突板は、複数枚の剥ぎで構成されております。

※ひのきの場合、幅2尺のもので1枚～3枚、幅3尺のもので1～4枚剥ぎです。

※表面突板の剥ぎ数へのご注文にはお答えしかねます。

※釘打ち、ネジ打ちの際はボードの割れ、欠けに充分注意して施工してください。(釘打ち、ネジ打ちする箇所がボードの端に寄りすぎますと、割れ、欠けの原因となります。ボードの端材などで釘打ちをお試しになってから施工を行ってください。)

※記載された仕様、価格、デザインは、改良のため予告なしに変更する場合があります。

## 施工前・施工後のご注意

**保管：**ピールドボードは湿潤などの害を受けないよう、常に乾燥した清潔なところに保管してください。

**取り扱い：**油気、汚れなどのない清潔な手で扱い、運搬の際には衝撃を与えないように丁寧に取扱ってください。

**施工後の養生：**施工後、不当な衝撃や接触を避け、特に吸湿汚染の防止に注意してください。

**出荷証明書：**出荷証明書が必要な場合は施工終了後、当社までご請求ください。現場名、施工業者等を記した証明書を発行します。

## 使用上の注意と日頃のメンテナンス

1.日頃のメンテナンスは、柔らかな布でカラ拭きをしてください。特に汚れの酷い場合は、中性洗剤を水で薄め、固く絞った雑巾で行ってください。

2.無塗装品は、水を含みますとシミになる事がありますので、ご注意ください。

3.水に濡れた場合や結露が生じた場合は、すぐに乾いた布で拭き取ってください。そのまま放置しておきますと、シミや変色、カビ、ひび割れなどの原因となりますのでご注意ください。

4.木質系の商品は多少の寸法誤差や形状変化、色調が異なる場合がありますのでご了承ください。

5.商品を乱暴に取り扱わないでください。